2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教 員による授業科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
244111095	管理栄養士への道	内田友乃・小関直美・ 小林沙綾・西彰子			1	必修	1前期

科目の概要

管理栄養学科では、疾病治療・重症化予防、疾病予防、食育・食環境の整備の分野で、人々の日常生活を健康の面から支援できる管理栄養士を育成する (DP4) 。これらの職域で活躍する管理栄養士になるためには、専門的な知識・技能を身に付けるだけでなく、本学の教育モデル「学びの泉」の実践を通して、自ら学ぶ能力・ともに学ぶ能力を身に付ける必要がある (DP1, 2, 3, 5)。この科目では、自身が目指すべき職域はどこか、それにはどのような基礎・専門知識とスキルが必要かを理解し、さらに管理栄養士としての行動特性を学修する。その上で、4年間の効果的な学びの進め方と自己の潜在能力開発への方法を考えて実践していく (DP7) 。

学修内容	到達目標
① 卒業時の到達目標としての職業意識及び特に重要な専門的実践能力(40項目)を知る。 ② 本学科4年間で学修する内容を知る。 ③ 自己ビジョン達成に必要な知識・スキルを考える。	① 管理栄養士のコンピテンシーとは何か理解できる。 ② 管理栄養学科4年間で学修する内容を理解できる。 ③ 管理栄養士になってどのようなことがしたいのかを明確にし、キャリアシートに記入できる。
④ 自己ビジョン達成に向けて、目標・計画・方法を考える。	④ 自己ビジョン達成のために必要な目標・計画を立案 し、その方法を明確にし、キャリアシートに記入できる。
⑤社会人基礎力評価を基に自己分析を行う。	⑤ 社会人基礎力評価を基に自己分析した上で、強みを伸ばし、弱みを克服する手立てを考え、キャリアシートに記入できる。。

	発揮させる社会人基 能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
	主体性	個人能力を主体的に発揮し、グループ活動では積極的に働きかけ行動に移すことができる。
前に踏み出す力	働きかけ力	グループメンバーに影響力を与える行動へと進めることができる。
	実行力	与えられた課題の内容を理解し、取り組むことができる。
	課題発見力	自分自身やグループの状態を分析し、課題解決案を導き出すことができる。
考え抜く力	計画力	グループ活動の中で、最善のものは何か提案することができる。
	創造力	提示した課題に対して、課題解決に導く最善策を考えることができる。
	発信力	自己の意見を整理して発言することで授業展開等の情況を把握できる。
	傾聴力	授業内容、課題、メンバーの意見等を理解し、内容を整理できる。
チーム	柔軟性	グループメンバーの意見・考え・提案に相違点があっても反対するのではなく需要し、自分と 相手の意見・考え・提案を整理して、目的・目標に向かって前進させることができる。
で働く力	情況把握力	自分自身やグループの状態を分析し、確認しあうことができる。
	規律性	提出期限を守るなど、決められたこと、自身で決めたことを守るよう意識することができ る。
	ストレスコントロール力	ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる。

テキスト及び参考文献

日本栄養会HP内のキャリア支援(https://www.dietitian.or.jp/career/)、関連法規・関係省庁・研究機関(https://www.dietitian.or.jp/data/link3/)の情報を教材として活用します。 学泉ノート

他科目との関連、資格との関連

「管理栄養士への道」は、専門科目の学科基礎・キャリア教育分野で、初年次教育科目として位置づけられています。したがって、この科目は管理 栄養士必修科目とすべてリンクしています。 この科目を履修することにより、自身の管理栄養士像や自己ビジョンを明確にし、専門科目の学習意欲の向上に繋げます。

資格との関連:管理栄養士・栄養士・栄養教諭

英语CODE - 自己未足工 未足工 未足工	
学修上の助言	受講生とのルール
管理栄養士の活躍する場にはどのようなところがあるのかを新聞、 雑誌等で情報を収集すること。 また日常に起きている社会の変化や時事にも目を向け、自分は何に 興味を持っているか、自分に何ができるかを常に考えること。 自己ビジョンを明確にするための情報収集を行うこと。	自分はどのような管理栄養士になりたいか、そのためにどのように大学生活を送ればよいか、常に意識する姿勢が必要です。

【評価方法】

評価対象			評価の 割合	到達目標		Ę	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
		筆記(レポート含む)・実 技・口頭試験		1				
	学期末試験			2				
			0	3				
				4				
				(5)				
				1				
				2				
		小テスト	0	3				
	平常評価			4				
学修成果				(5)				
		レポート	65	1	1			講義やグループディスカッション内容をまとめたワークシート、
				2	1			- キャリアシートの内容を評価する。 (内田:30点、小関:15点、小林:10点、西:10点) - 評価の構成割合は、知識の獲得20%、活用40%、解決40%とする。
				3	1			評価の構成割合は、知識の獲得20%、沽用40%、解决40%とする。
				4	1			
				(5)	1			
		成果発表(プ レゼンテー ション・作品 制作等)	25	1	1			グループ発表の内容を評価する。
	іші			2	1			(小関:5点、小林:10点、西:10点) 評価の構成割合は、知識の獲得10%、活用40%、解決50%とする。
				3	1			
				4	1			
				(5)	5 /			
				1	1			(主体性)自分の卒業後のビジョンをしっかりシートに明記できる。 (働きかけ力)グループメンバーに影響力を与える行動へと進めることができている。 (実行力)検索力は、使に使用しているとは、純素力なった」との記しなったとス
学		社会人基礎力 (学修態度)	10	2	1			(記した) 「、 、
学修行動				3	1			(主体性)自分の卒業後のビジョンをしっかりシートに明記できる。 (働きかけ力)グループメンバーに影響力を与える行動へと進めることができている。 (実行力)授業中は、常に集中しているため、授業内でシートの記入ができる。 (課題発見力)科目の到達目標・意義をしっかり理解しているため、ビジョン達成のためのやるべき事が明確である。 (計画力)課題を解決するために計画したことが、ブークシートに記述できている。 (創造力)課題を解決する行動がとれているため、有意義なグループ討議ができる。 (発信力)みんなが共感できたり・納得できる発信をしているため、日滑なグループ討議ができる。 (機能力)訪している人の値とか目を見て聴き、話しやすい祭師気を作り、グループ討議ができる。 (柔軟性)自分と相手の意見・考え・提案を整理して、目的・目標に向かって前進させる意見をいうことができている。 (規律性) 期限内に課題が提出できる。 (規律性) 期限内に課題が提出できる。 (規律性) 知限内に課題が提出できる。
				4	1			- (情況把握力) 物事がどのように進行しているか把握できる。 (規律性) 期限内に課題が提出できる。 (ストレスコントロール力) ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えた行動ができている。
				(5)	1]
		100		1		1		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
各分野担当教員からの課題を提示したワークシートへの回答内容とキャリアシートをレポートとして評価する。また、グループでの発表内容、発表準備、発表に対する姿勢等を成果発表として評価する。学修態度は、提出したワークシートへの記入を基に評価する。上記項目を総合的に判断し、90点以上をS(秀)、80-89点をA(優)とする。	各分野担当教員からの課題を提示したワークシートへの回答内容とキャリアシートをレポートとして評価する。また、グループでの発表内容、発表準備、発表に対する姿勢等を成果発表として評価する。学修態度は、提出したワークシートへの記入を基に評価する。上記項目を総合的に判断し、70-79点をB(良)、60-69点をC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	管理栄養学科で学ぶ学 修内容 (カリキュラ ム・ディプロマポリ シー)と資格取得につ いて理解する (キャン パスライフ活用) (内田0.5、西0.3、小 関0.1、小林0.1)	講義 演習 ディスカッション Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	4年間の履修系統や資格取得に必要な科目を 理解できる。	(予習) キャンパスラ イフの教育課程、学位 授与基準を読んでく る。 (復習) 履修系統図を 見て、4年間の学修構 成を理解する。	90	主働実課計創発傾柔情規ペカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカサ把性センドルールカカカカカカカカカカル・ロールカカル・ロールカカル・ロールカカル・ロールカル・ロールカル・ロールカル・ロールカル・ロールカル・ロールカル・ロールカル・ロールカル・ロールカルカル・ロールカル・ロールカル・ロールカル・ロールカル・ロールカル・ロールカルカル・ロールカルカルカルカルカルカルカルカルカルカルカルカルカルカルカルカルカルカルカ
2	管理栄養士に必要なマナーや言葉遣いや文章 の書き方を理解する (内田0.5、西0.5)	講義 演習 ディスカッション Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	管理栄養士に必要なマナーや言葉遣い、日本語の正しい文章の書き方を理解し、正しく使うことができる。	(予習) 社会人として必要なマナーや言葉遣いになる。日本方を日本方を問べてくる。書き方をでいてる。 (復習) 授業で学んだいる。 (復習) 授業で学んだいるがで自分に不足しの行動を習得するための行動を考え実行する。	90	主働き行題画造信聴軟行規制発領系情規が力力力力が表力力力性性性が力を引力力力性性性が力を観光では、力力が表現を表情規がある。
3	管理栄養士に必要な基礎知識について理解する(内田)	講義 演習 ディスカッション Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	管理栄養士を目指すに あたって必要な基礎知 識を確認し、理解す る。	(予習) 比率計算や単位変換など、基本的な計算スキルを確認してくる。(復習)授業で学んだ内容で自分に不足したいる点を習得するための行動を考え実行する。	90	主働実課計制発領表情報という方式をはいかります。 カカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカ 投票 できる から
4	管理栄養士の歴史と職業倫理について理解する(小林)管理栄養士の行動特性(コンピテンシー)について理解する(内田)	講義 演習 ディスカッション Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	管理栄養士の歴史を知る。 管理栄養士の職業倫理 (管理栄養士の職業倫理 (管理栄養士の使命、 責務)が理解できる。 管理栄養士のコンピテンシー(40項目)がどのようなものか、認識することができる。	(予習)管理栄養士の歴 史と職業倫理に関する情報を入手し、読んでくる。 (復習)学んだ管理栄養 士の歴史と職業倫理した 上で、管理栄養士の行助 特性の中で、何を身に付けるべきかを考える。	90	主体と対しています。
5	管理栄養士の職域と内容の理解①(西)様々な職域・職業および各領域(職域)で必要とされるコンピテンシーについて理解する	講義 演習 ディスカッション Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	各領域(職域)で必要とされるコンピテンシーを理解できる。	(予習)管理栄養士が活躍している場を調べる。 (復習)管理栄養士の活躍の場について、不足部分を調べる。	90	主働実課計制発領表情報という方式をはいかります。 カカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカ 投票 できる から
6	管理栄養士の職域と内容の理解② 管理栄養士の使命、責務および職能を理解する(様々な職域・職業)(西)	講義 演習 ディスカッション Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	各領域で必要とされるコンピテンシーを理解できる。自己ビジョンを達成するために必要な知識とスキルを理解できる。	(予習)管理栄養士の 活躍の場についてを 要な知識とスキルを調 べる。 (復習)グループ発表 の資料作成時に不足し た内容を調べる。	90	主働実課計創発傾柔情規とかり見から行題画造信聴軟況性性が力力力力性性性が力力力力性性性がある。
7	管理栄養士の職域と内 容の理解③ 管理栄養士の使命、責 務および職能を理解す る(様々な職域・職 業) (西)	グループ発表 ディスカッション Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	各領域で必要とされるコンピテンシーを理解できる。自己ビジョンを達成するために必要な知識とスキルを理解できる。	(予習) プレゼンの準備を行う。 (復習) 自己ビジョン 達成のために必要な知 識と事事を理解し、 整理する。	90	主働実課計制発領系情規とかり、力力を持ちの対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対
8	栄養学と関連する学問について① 栄養学の全体像とその分類や"つながり"について、ワークを通して学ぶ(小林)	講義 演習 ディスカッション Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	栄養学の全体像について、授業で紹介した用語を用いて説明できる。	(予習) 履修系統図を基に、4年間での学びを再度確認する。 (復習) 栄養学の全体像および分野別の内容について、理解できなかった点を調べる。	90	主働実課計創発傾柔情規パカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカル世程をリント・ロールカカル・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロー

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	栄養学と関連する学問について② 栄養学の全体像とその分類や"つながり"について、ワークを通して学ぶ(小林)	講義 演習 ディスカッション Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	栄養学およびその関連 学問の知識が必要とさ れる場面を説明でき る。	(予習)栄養学の全体 像および分野別の内容 について確認する。 (復習)グループ発表 の資料作成時に不足し た内容を調べる。	90	主働実課計創発傾柔情規パカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカサ性性とコントロール
10	栄養学と関連する学問について③ 栄養学の全体像とその分類や"つながり"について、ワークを通して学ぶ(小林)	演習 グループ発表 ディスカッション Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	栄養学およびその関連 学問の知識が必要とさ れる場面を説明でき る。	(予習)グループ発表 の資料作成時に不足し た内容を調べる。 (復習)栄養学の全体 像および分野別の内容 について、再度確認す る。	90	主働実課計創発傾柔情規とかカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカル性性はアトルカカカルは投資を表情規以とカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカ
11	管理栄養士の活躍の場と学修内容を整理する (内田) 管理栄養士として活躍する卒業生の講話を くための準備をする (小関) 【オンデマンド配信】	配信された資料を読む 演習 Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	管理栄養士の活躍の場と学修内容を整理し、連動させることができる。 卒業生の講話を聴する。 で業生ができる。 でまれていいる。	(予習)疾病治療・重 症化予防分野で活躍す る管理栄養士を確認し ておく。 (復習)講師の方のア ドバマースを基に自己分 析をする。	90	主働実課計創発傾柔情規とかり見からの表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表
12	管理栄養士として活躍する卒業生の講話① 疾病治療・重症化予防分野大学時代に習得しておくべき技術・スキルを知る大学時代の学修方法・受修行動のアドバイスを受ける(小関)	講話を聴く ディスカッション 発表 Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	体験談から、職務を遂 行会というにというでは、 一般では、 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を	(予習)疾病治療・重 症化予防分野で活躍する管理栄養士を確認しておく。 (復習)講師の方のアドバイスを基に自己分析をする。	90	主働実課計制発便素情規トなコントロール 力力を関連を表する。 を受け、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、
13	管理栄養士として活躍 する卒業生の講話② 疾病予防分野 大学時代に習得してお くべき技術・スキルを 知る。 大学時代の学修方法イ 学修行動のアドバイ を受ける。(小関)	講話を聴く ディスカッション 発表 Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	体験談から、職務を遂 行会というに必要な社会とのは必要を注 会とのできるできるできる。 では、発揮するができる。 できるできる。	(予習)疾病予防分野で活躍する管理栄養士を確認しておく。 (復習)講師の方のアドバイスを基に自己分析をする。	90	主働実課計創発力力力 力 力 別 力 別 力 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別
14	管理栄養士として活躍 する卒業生の講話③ 食育と食環環分して活躍 食育と食環であるしている 大学時代に習みませい。 大学時代の学修方は不 大学時代の学修方法イン 学修行動のアドバインを受ける(小関)	講話を聴く ディスカッション 発表 Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	体験談から、職務を遂 行会というに必要なえる 会人とが発揮さるの音を できるこれできる。 できることができる。	(予習)食育・食環境 分野で活躍する管理栄養士を確認しておく。 (復習)講師の方のアドバイスを基に自己分析をする。	90	主働実課計創発傾柔情規となった。
15	卒業後の進路を考え、 を考えるの進路を生活を とのような考える 自己ないのであるのがは をするのがは をするのができる (内田)	演習(キャリアシート の記入) Google classroomを介 した資料提示、課題提 出とフィードバック (meetを使用しての質 問)	自己ビジョンを明確 し、自己分析した内容 を基に4年間の学びの 計画をっキャリアシー トに記入することがで きる。	(予習) 卒業後、管理栄養士として何がしたいたいとのためには社会人をのように発揮すべきからに発揮すべきがを考えてくる。 (復習) 完成したキャリアシートを定期的に見直す。	90	主働実課計創発傾柔情規ストカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカセ把性とロットリールのサインスコントロールカカルを対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を